

フルサト工業

木造建築用高耐力壁を販売

大阪・関西万博のパビリオンでも採用

フルサト工業（大阪
市、古里龍平社長）
は、2024年7月か
ら木造建築用の高耐力
壁大臣認定品「ウッド
ブレース」を販売して
いる。

同社は、鉄骨建築用
の副資材の販売や、J
IS A5540建築用
ターンバックルである

MEDA

ウッドブレースは同社
が設立したブランド
「MEDA（メダ）」で
展開する

フルブレースの製造及
び販売を全国で手掛け
ている。
ウッドブレースは、



ウッドブレースの施工イメージ図

付けが簡単
で、施工者へ
の負担も少な
い。さらに、
部材は常に在
庫しており、
即納体制を整
えていること
も強み。同社
は「コストを
抑えつつ耐震
性を確保した
ら、

環境配慮及びユーザ
ーニーズの面から注目度
が高まっている木造建
築への参入するために
開発した。構造設計を
手掛けるアルキテック
（東京都、脇田健裕、
大沼耕平代表）が開発
を担当している。開発
期間は2年で、接合部
の強度を上げるため
に、金物の形状やビス

の間隔で試行錯誤があ
ったという。
同製品は半間用で壁
倍率4・8倍、1間用
で5倍と、鉄筋ブレイ
スで最高強度の壁倍率
を実現している。地震
発生時はブレースが伸
びることで強度を保つ
ため、耐力の低下がな
く住宅が長持ちする。
また、他素材の耐力壁

と比べて取り
付けが簡単
で、施工者へ
の負担も少な
い。さらに、
部材は常に在
庫しており、
即納体制を整
えていること
も強み。同社
は「コストを
抑えつつ耐震
性を確保した
ら、

い人に最適だ」と話す。
同社は、同製品の戸
建て住宅への採用を目
指し、構造設計者やハ
ウスメーカーへ提案し
ている。発売して6カ
月弱だが、木造建築に
取り組みたい鉄鋼商社
やプレカット業者から
の製品の問い合わせが
多いという。また、同
製品は大阪・関西万博
のパビリオンでも使用
される予定だという。